

よくわかる！

病害虫防除
マニュアル
きゅうり編

そーだ、
にほんそーだに
そーだんしょう！



日本曹達株式会社

適期の薬剤散布がポイント!きゅうり作りに、日曹の製品がお役に立ちます。

[] RACコード
ハウスで使用
するくん煙剤

土壌病害・センチュウには…

バスアミド 微粒剤



| 適用病害虫名など | 使用量 | 使用時期 /使用回数 | 使用方法 |
|------------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|
| 苗立枯病(ピシウム菌) 苗立枯病(リゾクトニア菌) | 200~ 400g/m ³ | は種 又は 定植21日前 /1回 | 所定量を加え 十分混和 |
| つる割病、半身萎凋病 白絹病、一年生雑草 | 20~ 30kg/10a | | 所定量を 均一に散布後 土壌と混和 |

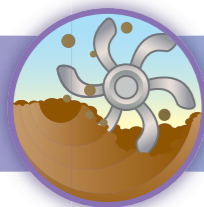
キルパー



| 適用病害虫名など | 使用量 | 使用時期 /使用回数 | 使用方法 |
|--|----------------|---|--------|
| つる割病、一年生雑草 | 40~60ℓ /10a | は種 又は 定植15日前 /1回 | ※A・B・C |
| ネコブセンチュウ | | | ※C |
| 苗立枯病(リゾクトニア菌) | 60ℓ/10a | | ※A |
| 前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、 とうがらし類 又はきゅうりの ネコブセンチュウ蔓延防止 | 60ℓ/10a | 前作の 栽培終了後から 残渣撤去まで 但し、は種 又は定植の 15日前まで/1回 | ※B |
| 前作のきゅうりの ホモフシス根腐病蔓延防止 | | | ※B |
| 前作のきゅうりの コナジラミ類蔓延防止 | | | ※D |
| 前作のきゅうりの 褐斑病、つる枯病蔓延防止 | | | ※D |
| 前作の野菜類 又は花き類・ 観葉植物のアザミウマ類蔓延防止 | 40~60ℓ /10a | | ※B |
| 前作の野菜類 又は花き類・ 観葉植物の古株枯死 | | ※B・D | |

※A 散布混和：所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
 ※B 希釈散布/灌水：あらかじめ被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
 ※C 注入：所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し、直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
 ※D 所定量の薬液を水で希釈し、土壌表面に散布または灌水する。

土壌消毒



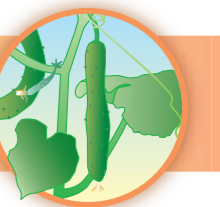
定植期



生育期(本圃での散布)



収穫期



定植期の害虫には…

モスピラン 粒剤

(4A)



| 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 /使用回数 | 使用方法 |
|--------|----------|---------------------|------|
| アブラムシ類 | 0.5~1g/株 | 定植時/1回 | 株元散布 |
| | 0.5g/株 | 定植後、但し 収穫30日前/1回 | |

アベイル 粒剤

(4A、28)



| 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 /使用回数 | 使用方法 |
|-------------------------------------|------|------------------|------|
| アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ウリハムシ | 2g/株 | 育苗後半~ 定植当日/1回 | 株元散布 |

ベリマーク SC

(28)



| 適用害虫名 | 使用量 | | 使用時期 /使用回数 | 使用方法 |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------|------|
| | 薬量 | 希釈水量 | | |
| アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 | 400株当り 2~20ℓ (1株当り25~50ml) | 400株当り 10~20ℓ (1株当り25~50ml) | 育苗後半~ 定植当日 /1回 | 灌注 |
| アブラムシ類 | 400株当り 25ml | 400株当り 2~20ℓ (1株当り5~50ml) | | |
| | | 400株当り 20~200ℓ (1株当り50~500ml) | 定植直後 /1回 | 株元灌注 |

(注意:定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内)

◎薬剤使用の際は、登録内容を確認の上、登録使用基準を遵守してください。 ◎本資料は、2023年9月現在の登録に基づいて作成しています。

生育期~収穫期の病害には…



| 適用病害名 | 製品名 | 希釈倍数 または使用量 | 使用時期 /使用回数 | その他の適用病害 |
|-------|---------------------|-----------------------|---------------|-----------------------|
| 灰色かび病 | ベルコートフロアブル(M7)※1 | 2000倍 | 前日/7回 | 褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病 |
| | ミギワ10フロアブル(52) | 1000倍 | 前日/3回 | 炭疽病、つる枯病 |
| | ゲッター水和剤(10.1) | 1500倍 | 前日/5回 | 炭疽病、菌核病 |
| | フルピカフロアブル(9)※1 | 2000~3000倍 | 前日/4回 | 褐斑病、うどんこ病 |
| | フルピカくん煙剤(9) | 50g/500m ³ | 前日/4回 | うどんこ病 |
| うどんこ病 | ベルコートフロアブル(M7)※1 | 2000倍 | 前日/7回 | 褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病 |
| | パンチョTF顆粒水和剤(U6.3) | 2000倍 | 前日/2回 | — |
| | トリフミン水和剤(3) | 3000~5000倍 | 前日/5回 | 黒星病 |
| | トリフミンジェット(3) | 50g/400m ³ | 前日/5回 | — |
| | ダコニールジェット(M5) | 20g/100m ³ | 前日/8回 | べと病 |
| べと病 | ベルコートフロアブル(M7)※1 | 2000倍 | 前日/7回 | 褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病 |
| | パンチョTFジェット(U6.3) | 50g/400m ³ | 前日/2回 | — |
| | ピシロックフロアブル(U17) | 1000倍 | 前日/3回 | — |
| | ベトファイター顆粒水和剤(27.40) | 2000~3000倍 | 前日/3回 | — |
| | ストロビーフロアブル(11) | 3000倍 | 前日/3回 | うどんこ病、炭疽病、褐斑病 |
| 褐斑病 | ゲッター水和剤(10.1) | 1500倍 | 前日/5回 | 炭疽病、菌核病 |
| | カンタスドライフロアブル(7) | 1500倍 | 前日/3回 | 灰色かび病、菌核病(1000~1500倍) |
| 菌核病 | トップジンM水和剤(1) | 1500~2000倍 | 前日/5回 | ※2 |
| | ファンタジスタ顆粒水和剤(11) | 2000~3000倍 | 前日/3回 | 灰色かび病 |
| | ミギワ10フロアブル(52) | 1000倍 | 前日/3回 | 炭疽病、つる枯病 |

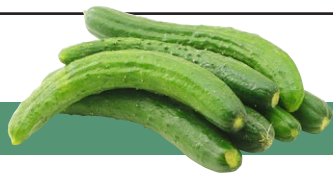
※1: 常温煙霧登録あり ※2: 黒星病、炭疽病、つる枯病、うどんこ病、灰色かび病

生育期~収穫期の害虫には…



| 適用害虫名 | 製品名 | 希釈倍数 または使用量 | 使用時期 /使用回数 | その他の適用害虫 |
|------------------|------------------------------|-----------------------|---------------|------------------|
| アブラムシ類 | マブリックジェット(3A) | 50g/400m ³ | 前日/2回 | — |
| アブラムシ類 コナジラミ類 | モスピラン顆粒水溶剤(4A) | 2000~4000倍※3 | 前日/3回 | ウリハムシ(4000倍) |
| | スカウトフロアブル(3A)(オンシツコナジラミ登録) | 2000~3000 | 前日/4回 | オンシツコナジラミ(3000倍) |
| | モスピランジェット(4A) | 50g/400m ³ | 前日/3回 | — |
| ミナミキイロアザミウマ | モスピラン顆粒水溶剤(4A)(アザミウマ類登録) | 2000~4000倍 | 前日/3回 | ウリハムシ(4000倍) |
| | コテツフロアブル(13)(ミナミキイロアザミウマも登録) | 2000倍 | 前日/3回 | ウリハムシ |
| ウリノメイガ | モスピラン顆粒水溶剤(4A) | 50g/400m ³ | 前日/3回 | — |
| | モスピラン顆粒水溶剤(4A) | 2000倍 | 前日/3回 | ウリハムシ(4000倍) |
| | コテツフロアブル(13) | 2000倍 | 前日/3回 | ウリハムシ |
| ハダニ類 | フェニックス顆粒水和剤(28) | 2000~4000倍 | 前日/3回 | ハスモンヨトウ |
| | ダニオーテフロアブル(33) | 2000倍 | 前日/2回 | — |
| | ニッソラン水和剤(10A) | 2000~3000倍 | 前日/2回 | — |
| | コテツフロアブル(13) | 2000倍 | 前日/3回 | ウリハムシ |
| | ピラニカEW(21A) | 2000~3000倍 | 前日/1回 | アブラムシ類(2000倍) |
| | マブリックジェット(3A) | 50g/400m ³ | 前日/2回 | — |
| | テルスタージェット(3A) | 48g/400m ³ | 前日/3回 | — |

※3: コナジラミ類は2000倍

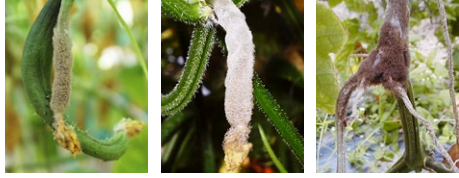


きゅうり病害虫図鑑

病害

【灰色かび病 *Botrytis cinerea*】

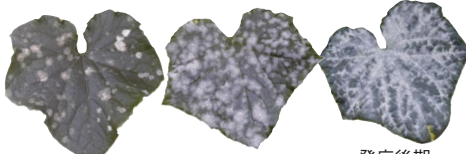
病斑上の病原菌や、地表面に菌核として残った病原菌が、伝染源となる。次期作では、そこから孢子が飛散して伝染する。



灰色のかびが密生する 発病幼果 発病茎
適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ブロードワン顆粒水和剤 など

【うどんこ病 *Golovinomyces cucurbitacearum, Leveillula taurica, Podosphaera xanthii*】

うり類が周年栽培される地域では、次々に伝染が繰り返される。晩秋に子のう殻が形成され、翌年の伝染源となる。やや乾燥した条件で発生しやすい。



発病中期 発病後期 発病後期 (葉脈に沿った病斑)
適用薬剤 バンチョTF顆粒水和剤、ベルコートフロアブル など

【べと病 *Pseudoperonospora cubensis*】

病原菌は発病葉で越冬する。きゅうりの周年栽培されている地域では、常時孢子が飛散しているため発生しやすい。葉に葉脈で区切られた多角形の黄色病斑を生じる。



発病初期 発病中期 発病後期
適用薬剤 ビシロックフロアブル、ベトファイター顆粒水和剤 など

【褐斑病 *Corynespora cassiicola*】

発病茎葉や農業資材などに付着した病原菌が、長期に生存して伝染源となる。葉に黄褐色の円形小斑点を生じ、後に同心円紋の大型病斑を生じる。



小型病斑 小型-大型混在病斑 発病後期
適用薬剤 ゲッター水和剤 など

【菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*】

地表面に落ちた菌核が伝染源となる。次期作では、そこから孢子が飛散して伝染する。果実、茎、葉に白色綿状のかびを形成し、後にネズミ糞状の菌核を生じる。



被害程度の異なる発病果 発病果に生じた菌核 発病茎に生じた菌核
適用薬剤 トップジンM水和剤、ファンタジスタ顆粒水和剤 など

【炭疽病 *Colletotrichum orbiculare*】

病原菌は発病茎葉や支柱に付着して越冬し、翌年の伝染源となる。葉に淡褐色の円形病斑を生じる。葉の病斑は内部がへこみ、穴が空きやすい。果実にも窪んだ病斑を生じる。



発病初期 発病中期 発病後期
適用薬剤 ミギワ10フロアブル、ゲッター水和剤 など

害虫

【ワタアブラムシ *Aphis gossypii*】

葉や果実からの吸汁により、作物の生育が抑制。果実への寄生による品質低下を招き、モザイク病の媒介をする。



有翅成虫と無翅成虫 体長1.5mm 新葉の寄生状況
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【オンシツコナジラミ *Trialeurodes vaporariorum*】

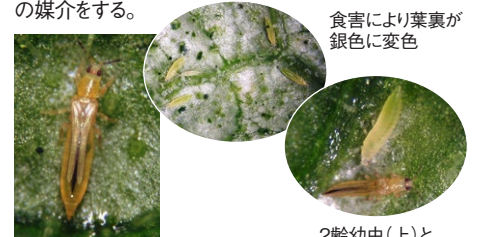
幼虫および成虫の葉からの吸汁により、作物の生育が抑制。排泄物によってすす病が発生、黄化病の媒介をする。



3齢幼虫(0.5mm)と4齢幼虫(0.8mm) 成虫(全長1.5mm) オンシツコナジラミの排泄物によるすす病
適用薬剤 モスピラン顆粒水溶剤 など

【ミナミキイロアザミウマ *Thrips palmi*】

幼虫および成虫が、葉および果実を食害。黄化えそ病の媒介をする。



食害により葉裏が銀色に変色 雌成虫(体長1.2mm) 2齢幼虫(上)と雄成虫(下)
適用薬剤 コテツフロアブル など

【ワタヘリクロノメイガ(ウリノメイガ) *Diaphania indica*】

幼虫により、葉や果実・茎が食害される。



若齢幼虫(体長4mm) 老齢幼虫(体長16mm) 成虫(体長15mm)
適用薬剤 コテツフロアブル など

【ナミハダニ *Tetranychus urticae*】

加害により、葉の表面に白点を生じ、増殖すると葉が萎縮し枯れる。



多発し巣網が張られた葉 卵(直径0.15mm)、第1若虫(0.25mm)、第2若虫(0.35mm) 成虫(体長0.5mm) 被害葉
適用薬剤 ダニオーテフロアブル、コテツフロアブル など

【ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*】

幼虫により、葉および果実が食害される。



中齢幼虫(体長13mm) 老齢幼虫(体長20mm) 幼虫による被害果 雄成虫(前翅長18mm) 雌成虫(前翅長20mm) 幼虫による被害葉
適用薬剤 フェニックス顆粒水和剤 など

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

お問合せ (03) 3245-6178

(平日9～12時、13～17時、土日祝日を除く)



HPIはこちらから